

交通局

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく
令和4年度の実施状況について

- 1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について 2

【掲載取組】

基本方針名	報告書 掲載頁
(1) 基本方針6 市役所の率先行動	49, 50 頁

1 脱炭素社会の形成の推進に関する施策の実施状況について

(1) 基本方針6 市役所の率先行動 局・統括本部ごとの取組実績等

交通局（高速鉄道事業・自動車事業）

1 高速鉄道事業の実績と取組

- 2021(令和3)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比 21%増の 6 万トンとなりました。
- 2022(令和4)年度のエネルギー消費量は、2013年度比 5.6%増の 1,254TJ となりました。
- 2022(令和4)年度は、駅照明の LED 化を進め、LED 化率は 42%となりました。
- 一部の駅や車両基地 4 施設に太陽光発電設備を導入しています。
- 現時点では、一般公用車に次世代自動車等の導入は行っていません。
- 高速鉄道事業の取組として、駅構内蛍光灯及び水銀灯の一部 LED 化を実施するとともに、ブルーラインの新型車両(4000 形)を5編成導入することで、省電力化を図りました。

2 自動車事業の実績と取組

- 2021(令和3)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比 16.4%減の 2.8 万トンとなりました。
- 2022(令和4)年度のエネルギー消費量は、2013年度比 15.8%減の 435TJ となりました。
- 2022(令和4)年度の LED 化率は 49%となりました。
- 所有施設に太陽光発電設備は設置していません。
- 現時点では、一般公用車に次世代自動車等の導入は行っていません。
- 自動車事業の取組として、FC バスのリースを2両増車し、3 両体制とすることで、温室効果ガス排出量の削減を図りました。

3 職員の取組

- 職員の取組として、会議等においてディスプレイやグループウェアを活用し、資料の電子データによる共有に努め、ペーパーレス化を推進しました。また、全職員を対象とした環境研修の受講やグリーン購入の推進を行いました。

<温室効果ガス排出量の状況> （単位：万 t-CO₂）

	基準年度 (2013)	2019 年度	2020 年度	2021 年度	
		実績	実績	実績	増減率 基準年度比
高速鉄道事業	5.0	6.0	5.7	6.0	21.0%
自動車事業	3.4	3.25	3.0	2.8	▲16.4%

<エネルギー消費量の状況> (単位:TJ)

	基準年度 (2013)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
		実績	実績	実績	実績	増減率 基準年度比
高速鉄道事業	1,188	1,300	1,263	1,268	1,254	5.6%
自動車事業	517	484	454	424	435	▲15.8%

<公共建築物の新築・改修等における取組(LED等高効率照明の導入状況)>

	全灯数 (2022年度)	LED等高効率照明の導入割合の推移			
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
高速鉄道事業	28,805	24%	29%	30%	42%
自動車事業	5,746	43%	46%	49%	49%

<再エネの導入拡大に向けた取組(太陽光発電設備の導入状況)>

設置済施設数(2022年度)：高速鉄道事業 4施設、自動車事業 0施設

<公用車における取組(一般公用車における次世代自動車等の導入状況)>

	一般公用車の 台数 (2022年度)	次世代自動車等の導入割合の推移			
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
高速鉄道事業	12	0%	0%	0%	0%
自動車事業	25	0%	0%	0%	0%